

北の池ハザードマップ

北の池ハザードマップの注意点

- このマップは、北の池の堤防が決壊した場合に、**想定される最も深い浸水深**を表示しています。
- 被害想定は、北の池の水位が、**ため池満水時に地盤から堤防高の差が最も大きい箇所**（被害が最も大きくなる箇所）が決壊したときのものです。
- 雨の降り方や地震の状況、ため池の貯水状況、ため池の被害の程度・決壊箇所などによって、**浸水予想区域が実際と異なる場合があります。**
- 大雨の時には、**ため池の決壊以外に河川や水路などによる浸水や土砂災害が発生していることも十分に考えられます。**

緊急連絡先

火事・救急(消防)		119
事故・事件(警察)		110
行政機関	美馬市役所(災害対策本部)	0883-52-1212
	美馬市消防署	0883-52-3025
	脇町庁舎	0883-52-5600
	徳島県 西部総合県民局 企画振興部	0883-53-2391
	徳島県 西部総合県民局 県土整備部	0883-53-2257
警察署	徳島県 西部総合県民局 農林水産部 農村保全担当	0883-53-2280
	美馬警察署	0883-52-0110
ライフライン	四国電力(株)	0120-410779
	四国電力大規模災害時のテレホンサービス	0120-459270
	四国ガス(株)	0120-440459
	徳島県LPガス協会	088-653-8821
	NTT西日本徳島支店	113
	美馬市水道部	0883-63-2236
	脇町土地改良区	0883-52-5229

避難場所

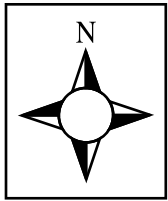
施設名称	所在地	電話番号
広域住民センター	脇町木ノ内3751	0883-52-3118

この地図の見方

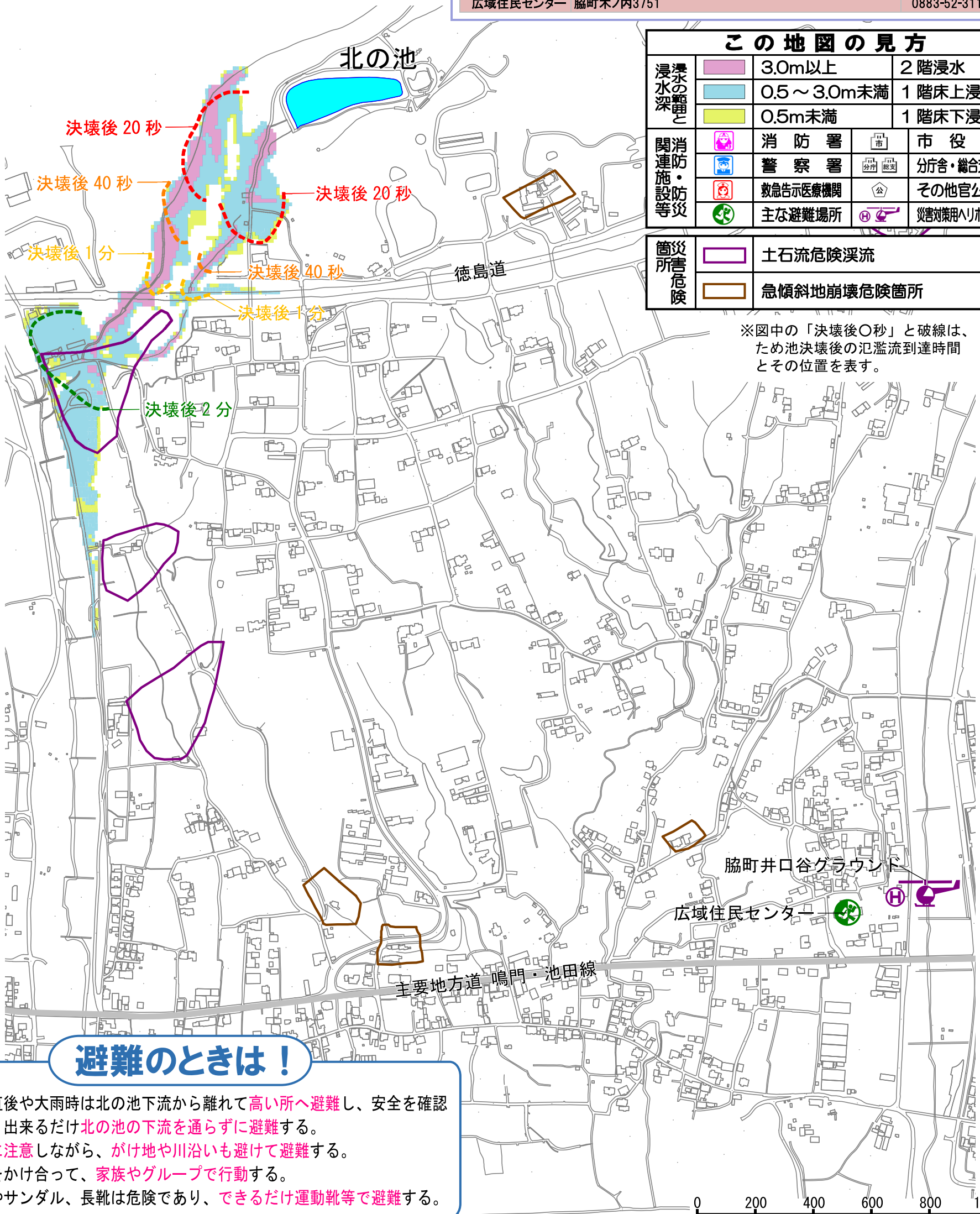
浸水の深さ		3.0m以上	2階浸水
		0.5～3.0m未満	1階床上浸水
		0.5m未満	1階床下浸水
消防・警察・救急等		消防署	市役所
		警察署	分庁舎・総合支所
		救急告示医療機関	その他官公署
		主な避難場所	災害対策用ハザードマップ

災害危険箇所		土石流危険渓流
		急傾斜地崩壊危険箇所

※図中の「決壊後〇秒」と破線は、ため池決壊後の氾濫到達時間とその位置を表す。



北の池総貯水量：66,000 m³



避難のときは！

- 地震発生直後や大雨時は北の池下流から離れて**高い所へ避難**し、安全を確認したのち、出来るだけ北の池の下流を通らずに避難する。
- 水の深さに注意しながら、**がけ地や川沿いも避けて避難**する。
- 近所と声をかけ合って、**家族やグループで行動**する。
- スリッパやサンダル、長靴は危険であり、**できるだけ運動靴等で避難**する。

美馬市 北の池 大師池・下の池 オソノ池 ハザードマップ



ため池堤体の決壊（市ノ池：兵庫県高砂市）

このハザードマップについて

- このハザードマップは、東海・東南海・南海地震などの地震や近年多発する大規模風水害により発生する災害を想定し、ため池決壊による浸水被害想定を分かりやすく住民の皆さんに提供することにより、災害時の避難対策に役立てていただくことを目的に作成したものです。
- 日頃から家族やご近所で災害への対応について話し合い、避難場所までの危険箇所について確認し、家から避難場所までの経路を事前に確認しておいてください。
- みなさんが災害について関心を持ち、いざという時に落ち着いて行動ができるよう、日頃から災害に関する正しい心構えを身につけておくことが大切です。

こんなときは要注意！！

◆大地震のとき

大地震の時に、ため池の堤防が異常な力を受け亀裂が生じることや、地盤の液状化により、決壊する危険性があります。

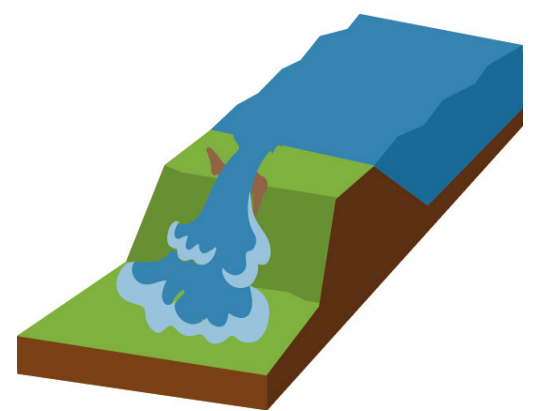
比較的小さな地震でも、堤防の内部に生じた亀裂などにより強度が低下し、水圧に耐え切れず決壊に到ることがありますので注意が必要です。



◆大雨のとき

大雨のとき、ため池の水位が上昇し堤防をのり越えた水の勢いによって堤防が浸食され、決壊することがあります。

竹や流木が洪水吐の断面を閉塞させると、堤防を越流しやすくなり、浸食・崩壊の危険性は、一層高くなります。



美馬市 経済部 農政課

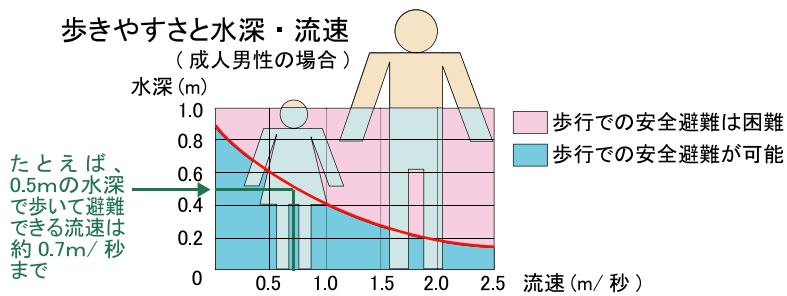
〒777-8577 徳島県美馬市穴吹町穴吹字九反地5番地

TEL : 0883-52-2633

http://www.city.mima.lg.jp/

ため池はん濫の特徴

- はん濫する水量は、ため池の貯水量のみであるため、窪地でない限り水はすぐに引き、長時間の浸水はありません。
- しかし、ため池の水が一気に流れ出すため、直下では急激なはん濫流により、建物の倒壊や人が流されるなどの被害が発生するおそれがあります。
- はん濫流速が毎秒1.5m（時速5.4km：早歩き程度の早さ）以上になれば、避難が不可能であると言われています。

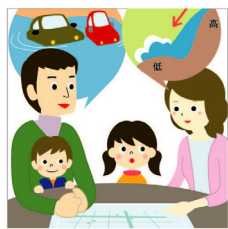


いざ！というときに備えて…

■避難場所と避難経路の

確認をしておきましょう

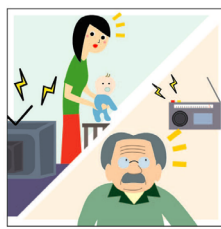
- 水は高いところから低いところに流れます。
- 道路は流れの強い洪水の通り道になります。



■正確な情報収集と

自主的避難を心がけましょう

- ラジオやテレビで正確な情報をつかみましょう。
- 危険を感じたら、市・警察・消防に連絡し、自主的に避難しましょう。



■非常持ち出し品を常備しましょう



懐中電灯、携帯ラジオ、飲料水、食料品、救急医薬品、お金、貴重品、衣料品、雨ガッパ、ハザードマップなど。

■避難の呼びかけに

注意を払いましょう



- テレビ、ラジオ、サイレン音などの情報に十分注意しましょう。
- 呼びかけがあった場合は、速やかに避難してください。

防災メモ --- 家族で話しあって書き込みましょう

わが家の避難所				
家族の集合場所				
緊急時の連絡先				
家族の名前	生年月日	血液型	既往症	携帯電話 会社・学校の連絡先

非常持ち出し品チェックリスト

<input type="checkbox"/> 懐中電灯 (<input type="checkbox"/> 電池)	<input type="checkbox"/> 現金・貴重品
<input type="checkbox"/> ろうそく (<input type="checkbox"/> マッチ)	<input type="checkbox"/> 衣類 (雨ガッパ、軍手、下着等)
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ (<input type="checkbox"/> 電池)	<input type="checkbox"/> ハザードマップ
<input type="checkbox"/> 水	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 食料品 (<input type="checkbox"/> 缶きり等)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 医療品	<input type="checkbox"/>

メモ